

## 趣 旨

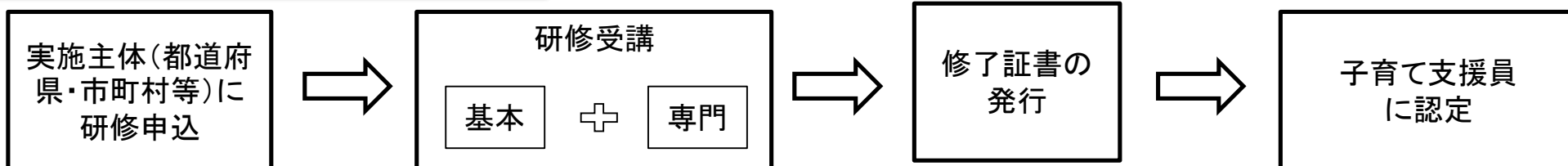
- 子ども・子育て支援新制度において実施される小規模保育、家庭的保育、ファミリー・サポート・センター、一時預かり、放課後児童クラブ、地域子育て支援拠点等の事業や家庭的な養育環境が必要とされる社会的養護については、子どもが健やかに成長できる環境や体制が確保されるよう、地域の実情やニーズに応じて、これらの支援の担い手となる人材を確保することが必要。
- このため、地域において保育や子育て支援等の仕事に関心を持ち、保育や子育て支援分野の各事業等に従事することを希望する者に対し、多様な保育や子育て支援分野に関しての必要な知識や技能等を修得するための全国共通の研修制度を創設し、これらの支援の担い手となる「子育て支援員」の養成を図る。

## 「子育て支援員」とは

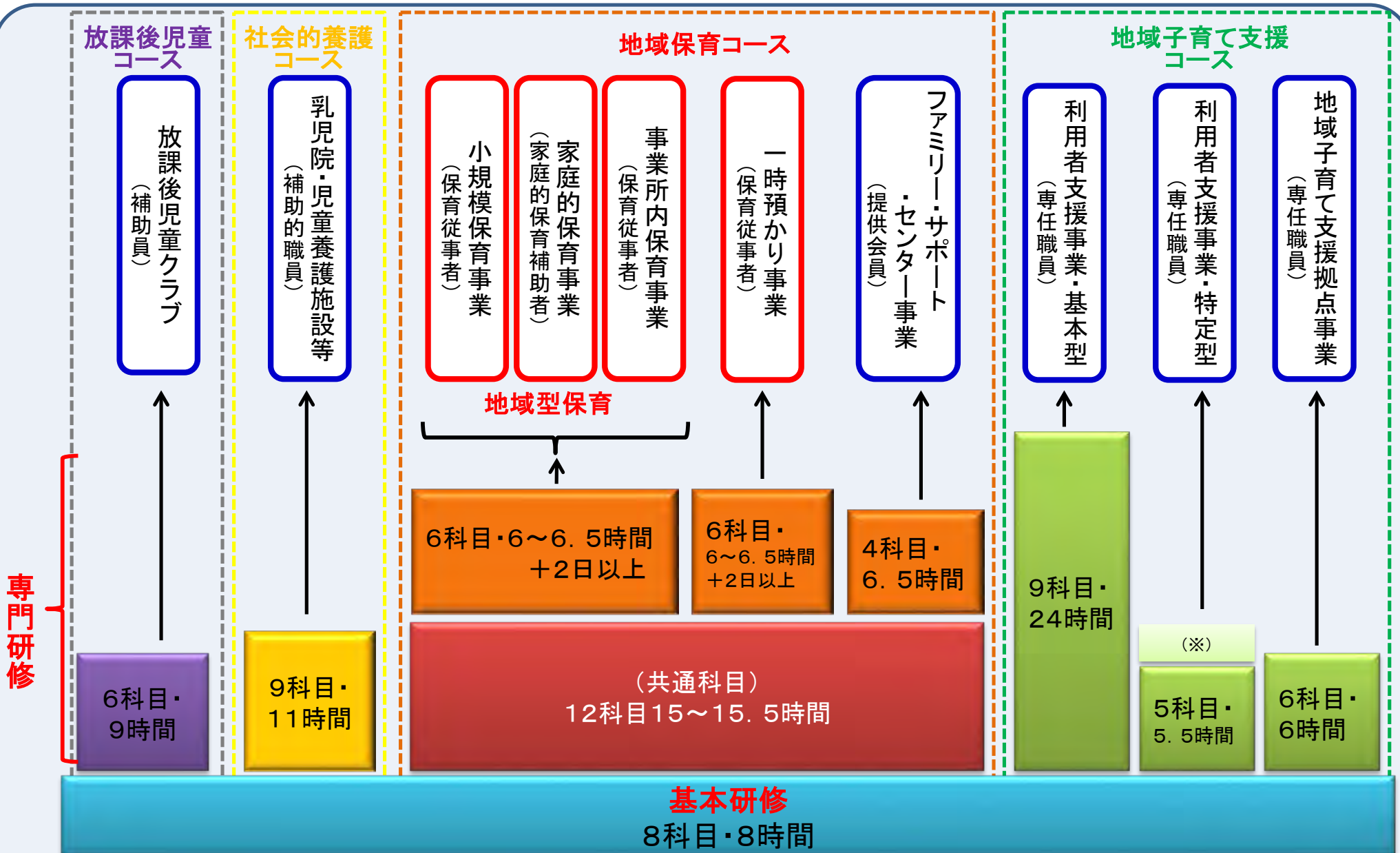
- 国で定めた「基本研修」及び「専門研修」を修了し、「子育て支援員研修修了証書」(以下「修了証書」という。)の交付を受けたことにより、子育て支援員として保育や子育て支援分野の各事業等に従事する上で必要な知識や技術等を修得したと認められる者
- 研修内容は各事業等に共通する「基本研修」と特性に応じた専門的内容を学ぶ「専門研修」により構成され、質の確保を図る。
- 研修修了者を「子育て支援員」として研修の実施主体が認定。全国で通用。

小規模保育等の保育分野や放課後児童クラブ、社会的養護、地域子育て支援 など子ども・子育て分野に従事

## 研修受講から認定までの流れ



# 子育て支援員研修の体系



※「利用者支援事業・特定型」については、自治体によって、実施内容に違いが大きい可能性があるため、地域の実情に応じて科目を追加することを想定。

注) 主な事業従事先を記載したものであり、従事できる事業はこれらに限られない(障害児支援の指導員等)。

注) 赤枠は、研修が従事要件となる事業。青枠は、研修の受講が推奨される事業。

# 子育て支援員研修(基本・専門)の時間数(案)

## 研修時間数

基本研修		専門研修		時間数	総時間数		現 行	
<div>&lt;8科目&gt;</div> <div>8時間</div> <div>+</div>		放課後児童コース		6科目・9時間	14科目・17時間		— (放課後児童支援員: 24時間)	
		社会的養護コース		9科目・11時間	17科目・19時間		—	
		地域子育て支援コース	基本型	9科目・24時間	17科目・32時間		—	
			特定型	5科目・5.5時間(※)	13科目・13.5時間(※)			
			地域子育て支援拠点事業	6科目・6時間	14科目・14時間			
		地域保育コース	共 通		12科目・15～15.5時間	地域型保育	26科目・29時間～30時間 +2日以上	・家庭的保育者基礎研修 21時間 ～22時間 +2日以上  ・ファミリー・サポート・センター (推奨) 24時間
			選 択	地域型保育	6科目・6～6.5時間 +2日以上	一時預かり事業	26科目・29時間～30時間 +2日以上	
一時預かり事業	6科目・6～6.5時間 +2日以上			ファミリー・サポート・センター	24科目・29.5時間 ～30時間			
ファミリー・サポート・センター	4科目・6.5時間							

※「利用者支援事業・特定型」については、自治体によって、実施内容に違いが大きい可能性があるため、地域の実情に応じて科目を追加することを想定。

# 子育て支援員研修(基本・専門)科目(案)一覧①

基本研修	8科目 8時間	①子ども・子育て家庭の現状 (60分)	②子ども家庭福祉 (60分)	③子どもの発達 (60分)	④保育の原理 (60分)
		⑤対人援助の価値と倫理 (60分)	⑥子ども虐待と社会的養護 (60分)	⑦子どもの障害 (60分)	⑧総合演習 (60分)

放課後児童 コース	6科目 9時間	①放課後児童健全育成事業の目的及び制度内容 (90分)	②放課後児童クラブにおける権利擁護とその機能・役割等 (90分)	③子どもの発達理解と児童期(6歳～12歳)の生活と発達 (90分)	④子どもの生活と遊びの理解と支援 (90分)	⑤子どもの生活面における対応等 (90分)	⑥放課後児童クラブに従事する者の仕事内容と職場倫理 (90分)
--------------	------------	--------------------------------	-------------------------------------	--------------------------------------	---------------------------	--------------------------	------------------------------------

社会的養護コース	9科目 11時間	①社会的養護の理解 (60分)	②子ども等の権利擁護、対象者の尊厳の遵守、職業倫理 (60分)	③社会的養護を必要とする子どもの理解 (90分)	④家族との連携 (60分)	
		⑤地域との連携 (60分)	⑥社会的養護を必要とする子どもの遊び理解と実際 (90分)	⑦支援技術 (60分)	⑧緊急時の対応 (60分)	⑨施設等演習 (120分)

地域子育て支援コース	基本型	9科目 24時間	①地域資源の理解 (事前学習)  (480分)	②利用者支援事業の概要  (60分)	③地域資源の概要Ⅰ  (60分)	④利用者支援専門員に求められる基本的姿勢と倫理  (90分)	⑤記録の取扱い  (60分)	⑥事例分析Ⅰ～ジェノグラムとエコマップを活用したアセスメント～  (90分)	⑦事例分析Ⅱ～社会資源の活用とコーディネーション～  (90分)	⑧まとめ  (30分)	⑨地域資源の見学  (480分)			
	特定型	5科目 5.5時間 (※)	①利用者支援事業の概要  (60分)		②利用者支援専門員に求められる基本的姿勢と倫理  (60分)		③保育資源の概要  (90分)		④記録の取扱い  (60分)		⑤まとめ  (60分)			
	拠点	6科目 6時間	①地域子育て支援拠点を全体像で捉えるための科目  (60分)			②利用者理解  (60分)		③地域子育て支援拠点の活動  (60分)		④講座の企画  (60分)		⑤事例検討  (60分)		⑥地域資源の連携づくりと促進  (60分)

※「利用者支援事業・特定型」については、自治体によって、実施内容に違いが大きい可能性があるため、地域の実情に応じて科目を追加することを想定。

子育て支援員研修(基本・専門)科目一覧(案)②

地域 保 育 コ ー ス	16科目 ～ 18科目 21時間 ～ 22時間 +2日以上	共 通	12科目 15～ 15.5 時間	①乳幼児の生活と遊び (60分)	②乳幼児の発達と心理 (90分)	③乳幼児の食事と栄養 (60分)	④小児保健Ⅰ (60分)	⑤小児保健Ⅱ (60分)
				⑥心肺蘇生法 (120分)	⑦地域保育の環境整備 (60分)	⑧安全の確保とリスクマネジメント (60分)	⑨保育者の職業倫理と配慮事項 (90分)	⑩特別に配慮を要する子どもへの対応(0～2歳児) (90分)
				⑪グループ討議 (90分)	⑫実施自治体の制度について(任意) (60～90分)			
		選 択	6科目 6～ 6.5 時間 +2日 以上	①地域型保育の概要 (60分)	②地域型保育の保育内容 (120分)	③地域型保育の運営 (60分)	④地域型保育における保護者への対応 (90分)	⑤見学オリエンテーション (30～60分)
				⑥見学実習 2日以上				
			6科目 6～ 6.5 時間 +2日 以上	①一時預かり事業の概要 (60分)	②一時預かり事業の保育内容 (120分)	③一時預かり事業の運営 (60分)	④一時預かり事業における保護者への対応 (90分)	⑤見学オリエンテーション (30～60分)
				⑥見学実習 2日以上				
			4科目 6.5 時間	①ファミリー・サポート・センターの概要 (60分)	②ファミリー・サポート・センターの援助内容 (120分)	③ファミリー・サポート・センターにおける保護者への対応 (90分)	④援助活動の実際 (120分)	

## 基本研修(案)①

科目名	区分	時間数	内 容	目 的
<b>1. 子ども・子育てに関する制度や社会状況における子育て支援事業の役割を捉えるための科目</b>				
①子ども・子育て家庭の現状	講義	60分	<子ども・子育て家庭(対人援助を行う対象)に対する理解> ①子どもの育つ社会・環境 ②子育て家庭の変容 ③ワークライフバランス	①子ども・子育て家庭と家庭生活を取り巻く社会的状況について理解する。 ②家庭の意義と多様な子ども・子育て家庭のニーズと子育て支援等の現状と課題について理解する。 ③子ども・子育て家庭の支援について理解する。 ④子育て家庭の貧困や非行などの背景の概要について理解する。
②子ども家庭福祉	講義	60分	<子育て支援制度の理解> ①子ども・子育て支援新制度の概要 ②子ども家庭福祉施策の理解 ③子ども家庭福祉に係る資源の理解	①子ども家庭福祉施策・制度の概要(子ども・子育て支援新制度の概要と子育て支援員が関わる事業の枠組みと位置付け等)について理解する。 ②児童福祉施設等と専門職の役割について理解する。 ③子ども家庭福祉に関する地域資源の概要(地域の人材確保を含む)について理解する。
<b>2. 支援の意味や役割を理解するための科目</b>				
③子どもの発達	講義	60分	<子ども・子育て家庭(対人援助を行う対象)に対する理解> ①発達への理解 ②発達への援助 ③胎児期から青年期までの発達 ④子どもの遊び	①子どもの発達の概要について理解する。 ②子どもの発達について発達観(「研修内容の構造」の視点(別紙))について理解する。 ③生涯発達の概要について理解する。 ④子どもの発達に応じた援助の基礎について理解する。 ⑤「遊び」の意義と「遊び」の質について理解する。
④保育の原理	講義	60分	<子育て支援(対人援助)を行うための援助原理の理解> ①発達・成長の保障 ②情緒の安定 ③生命の保持	①発達・成長過程に応じた保育の基礎について理解する。 ②情緒の安定と生命の保持に係る保育の基礎について理解する。 ③子育て支援事業における安全対策の必要性、危機管理の概要について理解する。



## 基本研修(案)②

科目名	区分	時間数	内 容	目 的
⑤対人援助の価値と倫理	講義	60分	<p>&lt;子育て支援(対人援助)を行うための援助原理の理解&gt;</p> <p>①保護者・職場内・他組織・地域の人々との連携・協力</p> <p>②守秘義務・個人情報の保護</p> <p>③子どもの最善の利益</p> <p>④利用者主体</p> <p>⑤対象者の尊厳の遵守</p>	<p>①対人援助の価値について理解する。</p> <p>②保護者・関係者・関係機関との連携・協力の必要性について理解する。</p> <p>③対人援助の倫理について理解する。</p> <p>④子どもの権利擁護の基本的視点について理解する。</p> <p>⑤子育て支援員の役割と倫理について理解する。</p>

### 3. 特別な支援を必要とする家庭を理解するための科目

⑥子ども虐待と社会的養護	講義	60分	<p>&lt;子育て支援(対人援助)を行うための援助原理の理解&gt;</p> <p>①子ども虐待と影響</p> <p>②虐待の発見と通告</p> <p>③虐待を受けた子どもに見られる行動</p> <p>④子どもの権利を守る関わり</p> <p>⑤社会的養護の現状</p>	<p>①子ども虐待(家庭における配偶者等からの暴力(DV)を含む)とその影響(虐待を受けた子どもに見られる行動など)について理解する。</p> <p>②虐待を受けたと思われる子どもを発見した際の基本的な対応の概要について理解する。</p> <p>③子どもの最善の利益を尊重するための援助について理解する。</p> <p>④社会的養護の意義と現状の概要について理解する。</p> <p>⑤社会的養護を必要とする子どもや家庭の状況について理解する。</p>
⑦子どもの障害	講義	60分	<p>&lt;子育て支援(対人援助)を行うための援助原理の理解&gt;</p> <p>①障害児支援制度の理解(合理的配慮を含む)</p> <p>②障害特性に応じた関わり方・専門機関との連携</p> <p>③障害児支援等の理解</p>	<p>①障害特性について概要について理解する。</p> <p>②障害児支援制度の概要について理解する。</p> <p>③障害特性に応じた関わり方や専門機関との連携の概要について理解する。</p> <p>④障害児支援等の現状について理解する。</p>

## 基本研修(案)③

科目名	区分	時間数	内 容	目 的
<b>4. 総合演習</b>				
⑧総合演習	演習	60分	①子ども・子育て家庭の現状の考察・検討 ②子ども・子育て家庭への支援と役割の考察・検討 ③特別な支援を必要とする家庭の考察・検討	①履修した内容についての振り返りを図るためのグループ討議。 ②子育て支援員に求められる資質についての理解の確認。 ③履修した内容の総括と今後の課題認識の確認。  ※内容欄のテーマをもとに、研修効果の定着を図るために上記①～③のいずれかの振り返りを行う。

8科目・8時間  
総合演習はレポート提出に代替可

※各専門研修の内容・目的等についても同様に整理しており、厚生労働省のホームページに掲載しておりますので、ご参照下さい。  
[http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11901000-Koyoukintoujidoukateikyoku-Soumuka/siryou1\\_4.pdf](http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11901000-Koyoukintoujidoukateikyoku-Soumuka/siryou1_4.pdf)